

## 湯沢よつばこども園施設関係者評価委員会

平成 30 年 3 月 16 日（金）15 時 30 分  
湯沢よつばこども園 2 階 子育て支援室

### 次 第

- 1 開 会
- 2 園長挨拶
- 3 委員紹介
- 4 幼保連携型認定こども園 1 年目の取り組みについて
- 5 保育支援システムについて
- 6 自己評価と保護者アンケートについて
- 7 意見交換
- 8 閉 会

平成29年度 湯沢よつばこども園施設関係者評価委員会名簿

役 職	氏 名	住 所	電話番号	職 場	備 考
元父母の会会長	新川 智士				再任
現父母の会会長	佐藤 仁志				新任
苦情解決委員	笹木 良一				再任
苦情解決委員	京野 楽弥子				再任
学識経験者	高橋 大匡				再任
近隣住民	佐藤 辰雄				新任

## 幼保連携型認定こども園1年目の取り組みについて

- 良き伝統は残し、さらに新しい取り組みに目を向ける。
  - ・ 市との連携による農業体験
  - ・ お茶会体験
  - ・ 愛宕荘訪問
- 指導計画の見直し
  - ・ 教育と保育、養護の整合性（教育部分の充実）
- 行事の見直し
  - ・ 5歳児野外保育（行き先）
- 子育て支援事業の充実
  - ・ 園開放、一時預かり事業、NPプログラム
- 園内研修の充実
  - ・ 双葉幼稚園と連携を密にして、学年ごとの職員会議（年数回）
  - ・ 「学年末までに育てたい力」の共通理解
  - ・ ワークショップ型研修
- 各リーダーと職務分担
  - ・ 副主任・専門リーダー・職務分野別リーダー

## <保育支援システムについて>

今年度より保育支援システムを導入いたしました。

これは、平成28年度の「特定教育・保育施設業務効率化推進事業補助金（ICT化推進事業）」を活用しております。（ICTシステムの導入に対して最大100万円の補助）

どのようなものかといいますと、国で進めている教育・保育政策の一つで、保育士等の業務において負担となっている書類作成等の業務について、ICT化推進のための保育支援システムの導入に必要な経費に対して補助するもの（補助費用は最大100万円）となっております。

### ■システムの内容

#### ①園児管理システム

園児に関する記録（日誌・指導計画・園児台帳・成長経過記録等）をシステムにより体系的に管理するもので、保育教諭が行う事務的な作業の効率化を図ります。

#### ②登降園管理システム

QRコードが印刷されたカードを園児の送迎にきた方がQRコードリーダーへかざすことにより園児の登降園時間を管理しています。職員の出退勤の管理も行います。

#### ③請求管理システム

登降園管理システムで入力された内容を基に、請求金額の算出や請求書の発行が可能です。保育料・給食費・預かり保育料・延長保育料・希望給食費・教材費などの保護者負担金の徴収について、口座振替方式へ移行しています。

### ■経過報告

平成28年4月より、保育支援システム事業者によるプレゼンテーションや双葉学園内で選定委員会を設け、協議を重ねました。最終的に、選定委員会による総合評価方式により、事業者を選定いたしました。業者決定後は、システムの納品・設置、無線LANの設備導入や保育教諭のための講習会の開催など、順調に進んでおりましたが、運用開始から数か月が経つと、業者側も原因がわからない登降園システムのエラーが発生したり、更新を依頼していた日誌・指導計画等の様式が更新されていないままであったりと、業者側の不手際が先行かつ長期化し、保育業務の効率化が目的のはずが、かえって、教育・保育の現場に混乱を招くやっかいなイメージがついてしまいました。今では、登降園システムのエラーも改善され、様式の変更など細かいところは、業者側の担当者と何度も協議を繰り返しているところです。今後、保育支援システムが一つ一つ園のニーズに寄り添いながら、柔軟に対応を図ること、また、われわれ保育教諭もシステムに対し、マイナスなイメージを持たず、積極的な活用をしていくことで運用の充実につなげていきたいと思っております。

#### <防犯カメラについて>

平成28年11月に内部防犯カメラを0歳児クラスに、また、平成29年12月に外部防犯カメラをこども園正面玄関前と裏口非常階段付近に設置いたしました。このカメラ映像は、事務室のモニターによる監視やディスクレコーダーにより一定期間の録画保存が可能になっております。内部カメラについては、乳児保育における重大事故の発生リスクの除去及び事故が発生した場合の検証機能の確保、外部カメラについては、施設周囲の安全確認、侵入抑止等、防犯対策の強化につながることを期待されています。

これは、平成28年度の「特定教育・保育施設業務効率化推進事業補助金（ビデオカメラ推進事業）」を活用しています。（防犯カメラの設置に対して最大10万円の補助）

#### <ホームページについて>

平成29年12月からクラウドソーシングを活用して発注した在宅ワーカーと協議を重ね、平成30年4月の公開を目指し、ホームページ制作に取り組んでいます。来年度からは、ホームページ担当者を一人置き、定期的な園情報の更新や閲覧制限付きの行事写真等の公開を進めていく予定です。

これは、平成29年度の湯沢市クラウドソーシング導入支援事業におけるクラウドソーシングの発注体験を利用した助成金を活用しております。（クラウドソーシングを活用して、実際に業務を発注する企業に最大10万円の補助）

双葉学園 平成29年度 後期 << 自己評価 >>

— 自己を振り返って —

3段階 評価です。

A：達成されている。

B：取り組んでいるが、成果が十分でない。

C：取り組みが不十分である。

湯沢よつばこども園 給食担当者

氏名 \_\_\_\_\_

評価項目～内容～	評価			意見・改善策（特にB・Cに○の場合記入して下さい。）
	A	B	C	
— 社会性 —				
①保護者、来客に対してきちんと挨拶ができていますか。	6			
②常に笑顔で心がけ、いつも明るく対応していますか。	6			
③上司の言葉を素直な気持ちで受け止め、上司の指示や定められた規則を守ることができますか。	6			
④締切のある仕事や提出物は締切日をきちんと守っていますか。	6			
⑤髪が顔にかかったり爪が伸びたりして危険・不衛生にならないようにし、仕事に適した服装を心がけていますか。	6			
⑥睡眠・食事など規則正しい生活を送り、自己の健康管理ができていますか。	6			
⑦施設及び職員、子どもや保護者に関する個人情報は、守秘義務を果たしていますか。	6			
⑧携帯電話は節度ある使い方をしてしていますか。（休憩時間に使用する。園児・保護者の個人情報に関する使い方をしない。など）	6			
⑨セクシャルハラスメントや虐待など、保育者にあるまじき行為をしないようにしていますか。	/			
⑩子どもの名前を呼びすてにしないようにしていますか。	6			
⑪園内の職員とのコミュニケーションをとることができますか。	6			
⑫なれ合いとならぬように、職場内でも互いにきちんとした対応を心がけていますか。	6			
⑬保護者（卒園児含む）と個人的立場で必要以上に、園の情報を話したり、付き合ったりしていませんか。	6			

評価項目	具体的な取り組み	はい	もう少し	いいえ	意見・改善策
多様なニーズへの対応	・アレルギーや疾患を持つ子どもで、専門医から指示があり、食品の除去や代替えを必要とする場合は、状況に応じて適切な対応をしていますか。	6			・なるべく同じものをと考えているが対応できない場合もある。
	・アレルギーや疾患を持つ子どもにも、みんなと同じものを食べたい子どもの気持ちを大切に献立になるように配慮していますか。	5	1		
保健・安全	・日々、自分の健康管理に気をつけていますか。	6			・前回から（提供）時間がたち、対応・反映できない時もあるができるだけ反映している。
	・食材、調理食品の衛生に努めていますか。	6			
	・施設設備の衛生面に留意し、保守点検をしていますか。	6			
	・検食結果を次に反映していますか。		1		
意欲・連携	・園の子どもたちが喜ぶ姿を想像しながら、意欲的に仕事にあたりましたか。	6			
	・献立を共通理解し、分担して調理にあたりましたか。	6			
施設・設備	・施設設備は使いやすい環境になっていますか。	3	3		
	・毎日の清掃は十分にされていますか。	6			
研修	・給食会議の内容は、献立作成・調理に役立っていますか。	3	1		
	・園外研修に参加し、仕事に生かすことができましたか。	4	1		
献立・調理・盛り付け	・献立作成にあたり、季節感や地域性を配慮していると思いますか。	2	1		
	・幅広い食材を取り入れ、その食材の持ち味を生かした調理を工夫していますか。	4			
	・子どもが自分で食べる意欲を培うことができるように、発達状況に即した大きさ、切り方、かたさなどの調理形態に配慮していますか。	6			
連携	・クラス担当との連携で、家庭での食事の状況を把握し、要望や相談を受け入れていますか。	2	1		
	・職員間のチームワークを良好に保つように心がけていますか。	5			

<前期のあなたの課題に対するその後の取組みはどうでしたか。それを踏まえて来年度の課題は何ですか。>

- ・今後もアレルギー対応食には、緊張感を持って対応していきたい。献立に季節感や地域性を盛り込んでいけるように、工夫していきたい。
- ・「おいしかった。」と子ども達に声をかけられうれしい。自分なりに努力していきたい。
- ・調理の仕事が一人の人にかたよらないよう、声をかけていきたい。
- ・指示された仕事をてきぱきとできるように努力していきたい。
- ・時間に追われることもあったが、待たせることなく給食を出せるように頑張りたい。
- ・調理師の資格取得に力を入れたい。・健康でいつでも役立つよう頑張りたい。

双葉学園 平成 29 年度 後期 << 自 己 評 価 >>

湯沢よつばこども園

該当する欄に○印をつけてください。

氏名 \_\_\_\_\_

— 自己を振り返って —

3段階 評価です。  
 A：達成されている。  
 B：取り組んでいるが、成果が十分でない。  
 C：取り組みが不十分である。

評価項目～内容～	評価			意見・改善策（特にB・Cに○の場合記入して下さい。）
— 社会性 —	A	B	C	
①保護者、来客に対してきちんと挨拶ができていますか。	21			②常に笑顔は難しかった。  ④締切日ぎりぎりになってしまうことがあったので余裕を持って取り組みたい。  ⑤油断すると爪が伸びていた。 ・身だしなみは自己管理の一貫としてこまめにチェックしていく。  ⑥想定外に通院が多く、自己管理が不十分だった。 ・規則正しい生活を意識して健康に過ごしたい。(3人)  ⑩気を付けてはいるが、とっさに呼び捨てになってしまう。 ・愛称で呼んでしまう。 ・危険時や焦った時に呼んでしまう。 ・親しみを込めた言い方だが気をつけたい。 ・日頃から～君～ちゃんを意識する。  ⑪色々な先生方と話すことが増えてきた。  ⑫その場の状況により、言葉の使い方、態度に崩れがあり気を付けた。
②常に笑顔を心がけ、いつも明るく対応していますか。	20	1		
③上司の言葉を素直な気持ちで受け止め、上司の指示や定められた規則を守ることができますか。	21			
④締切のある仕事や提出物は締切日をきちんと守っていますか。	19	2		
⑤髪が顔にかかったり爪が伸びたりして危険・不衛生にならないようにし、仕事に適した服装を心がけていますか。	20	1		
⑥睡眠・食事など規則正しい生活を送り、自己の健康管理ができていますか。	17	5		
⑦施設及び職員、子どもや保護者に関する個人情報は、守秘義務を果たしていますか。	21			
⑧携帯電話は節度ある使い方をしてますか。(休憩時間に使用する。園児・保護者の個人情報に関する使い方をしない。など)	21			
⑨セクシャルハラスメントや虐待など、保育者にあるまじき行為をしないようにしていますか。	21			
⑩子どもの名前を呼びすてにしないようにしていますか。	11	10		
⑪園内の職員とのコミュニケーションをとることができますか。	19	2		
⑫なれ合いとならぬように、職場内でも互いにきちんとした対応を心がけていますか。	20	1		
⑬保護者（卒園児含む）と個人的立場で必要以上に、園の情報を話したり、付き合ったりしていませんか。	21			

— 保育の計画性 —

①園の教育・保育目標、教育要領・保育指針を理解し、園の目指す子どもの姿を具体的にイメージできますか。	14	6		①何度も確認しながら、具体的にイメージできるようにする。 ②子どもの姿をもっと丁寧にみていく。 ・子どもの実態を踏まえて作成しようと心がけているが難しい。(2人) ・自分だけでなく職員みんなで取り組むよう心がける。
②指導計画は子どもの実態を踏まえて、作成していますか。	12	7		
③子どもの姿を的確にとらえた「ねらい」を設定していますか。	14	5		

③しっかりと子どもの実態を踏まえた計画がたてられるように、担任間での話し合い、共通理解をしていきたい。



④子どもが主体的な生活を展開していけるような環境の構成と保育者の関わりを考えて、取り組むことができますか。	13	8	④指導主事からの指導や助言を参考にしていきたい。 ・環境構成の見直し(2人)
⑤自分の保育と計画の評価・反省を行い、次の保育に活かせるようにしていますか。	17	4	⑤主体的な生活と子どもの姿を良く見て努力していく。(4人) ・反省だけでなくその後につなげ保育にいかしていく。

— 保育のあり方と子どもの対応 —

	①子どもが日々過ごす保育室を明るく清潔に保ち、健康と安全に配慮していますか。	21		④しっかり意識し、かかわる。(4人) ・突発的なことに関して出てしまう場合がある。感情的にならない努力と方法を身に付けたい。 ・「早く」と言ってしまう。自分に余裕を持ち接していきたい。 ・かじったり押ししたりしようとする際使ってしまう。  ⑤忙しくなると口うるさくなってしまうこともあるので余裕でかかわるようにする。 ・気持ちを落ち着かせてから冷静に対応していく。 ・声のトーンや表情で伝える。(2人)  ⑦気が付いた所はリーダーに伝え対策を提案する。 ・2時間前にチェック(ホール) ・毎日の提案をこまめに行う。 ・外が不十分。  ⑧叩く、蹴る等を遊びに取り入れたい。 ・はさみを使った活動を取り入れたい。 ・環境構成を学ぶ努力をする。(3人)  ⑨一人一人に十分に目が届いていたとは言えないので全体を見ながらも、長い目で見て発達を促していけるよう努力する。  ⑩個々の興味の度合いが違うため難しいが、大切にしていかなければと感じる。 ・自分自身感受性を豊かにし、積極的に遊びを取り入れる。
	②一人一人の生活リズムや欲求、その日の体調等を把握した上で柔軟に対応していますか。	21		
	③子どもの気持ちを理解し信頼関係を築くよう努めていますか。	21		
	④「だめ」「いけません」と禁止語や「はやくしなさい」とせかす言葉を不必要に用いないように意識していますか。	14	7	
	⑤子どもの状態を見極め、感情的になったり、大きな声で子どもを叱ったりしていませんか。(怒ると叱るを区別していますか。)	16	5	
	⑥子どもの声に耳を傾け、一人一人の「思い」をきちんと受け止めるようにしていますか。	20	1	
	⑦園内外でけがや事故につながる箇所がないか定期的に点検・改善し、安全に遊べるようにしていますか。	17	4	
	⑧発達に応じて経験させたい遊びが十分に楽しめる環境を、整えていますか。	15	5	
	⑨一人一人が十分に遊びに取り組んでいるか見極め、共感を持って子どもに適切な援助や関わりをしていますか。	19	1	
	⑩保育者自身が季節の変化を感じるとる感受性を大事にし、子どもの探求心、知的好奇心を引き出すような関わりをしていますか。	19	2	
未 満 児	①落ち着いた雰囲気や抱いたり、語りかけ頬ずりなどをしたりして、人との関わりを楽しませていますか。	14		
	②おむつ交換時は言葉をかけるなど、楽しい雰囲気の中で取り替え、排便の状態を把握し、衛生面に配慮していますか。	14		
食 育	①楽しい雰囲気でするよう心がけ、無理なく好き嫌いをなくす援助・配慮をし、食べ物への興味・関心をもたせる工夫をしていますか。	19	2	
	②担当保育者だけでなく、調理員や家族と連携をとり、より良い食事ができるようにしていますか。	21	1	

— 職員間の連携 —

①職員全員が一つのチームであることを意識し、他の意見	17	4	①自分の意見が押し付けになっていない
----------------------------	----	---	--------------------

を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べたりすることができますか。				か自分の考えは適しているか等を思うと難しい。 ・自分の意見を述べるのが苦手なのでしっかり言えるよう頑張りたい。(4人)
②園の方針・活動の目的または、問題意識の共有などを職員間で共通理解し、協力できる体制ができていますか。	18	3		②共通理解まで至らない。
③日々の保育の中で、担当間において、一日の計画、振り返りができ、連携がとれていると思いますか。	18	3		③担当が多いと思えば通が難しい ・一日の計画の見直しを持つ。
④保育者同士、クラスやグループに関係なく子どもを見守り、その場に応じた適切な言葉かけや援助をしていますか。	20	1		④もっと声を掛け合っても良いと感じる。
⑤異年齢の発達を理解し、その連携がスムーズに行われていますか。	18	3		⑤階が違うとなかなかスムーズに行うことができない。

— 子育て支援・家庭との連携 —

①保護者との信頼関係を築くため、適切な言葉づかいや立ち居振る舞いをするように心がけていますか。	21			②あまり記入してくれない保護者が多い。
②連絡帳は子どもの様子をわかりやすく伝えていきますか。	19	1		④自分だけで判断するのが難しい場合は常に相談し、連携をしていけるようにしている。 ・押し付けているようには伝えていないが保護者の中には押し付けられたと思う人がいるかもしれない。 ・今後の課題である。 ・寄り添いながら上手な伝え方をしていきたい。
③保護者の思いを受け止め、様々な内容の相談・要望に誠実に対応していますか。	21			⑤担当者を専属にした方が良いと思う。
④現在の子どもの発達・発達について、今どのような関わりが必要か、保護者に保育士の考えを押し付けるのではなく、いくつかのアドバイスの中から家庭が自ら解決できるように配慮していますか。	17	4		
⑤一時預かり保育の内容は、現行で良いと思いますか。	18	3		

— 組織・運営 —

①園行事は子どもの発達に添った意義のある内容で、行われていると思いますか。(検討が必要であると思うものを記入)	21			①雨天の会場の再検討(夕涼み会の会場が狭い) ・バザーの実施はどうか。
②避難訓練は、計画に基づいて適切に実施されていますか。また、災害や事故の発生に対応できるものになっていると思いますか。	19	2		②2階テラスに職員の外靴を常に置いた方が良い。(避難時)
③地域に密着しその活動に積極的に参加したり取り組んだりしていると思いますか。	21			④ホームページ等でもこまめに園の様子、行事を発信した方が良い。 ・ホームページを見る機会がない。
④園だより・学級通信、ホームページ等で園の情報を発信し、その内容は十分だと思えますか。	19	2		⑤地域の意見がよく分からない。
⑤地域や保護者の意見が園運営に十分に反映されていると思えますか。	19	1		
⑥他校種の幼児児童生徒と触れ合う中で、幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・指導を行っているか。	19	1		

— 研 修 —

①園外研修に積極的に参加し、その内容を園内に還元していますか。	16	2		①まだ不十分なので積極的に還元できるように取り組みたい。
②日々の実践や研修により、乳幼児理解が深まり、子どもの育ちに反映していますか。	16	3		②理解不十分、努力が必要。 ・子どもの育ちに反映しているか不安。
③ワークショップ型研修において他者の意見を聞き、自分の意見を述べ、研修に取り組むことができましたか。	17	1		③ワークショップ型に対しての抵抗感がまだあるように思う。 ④改善できる部分には取り組んでいるが、

④ワークショップ型研修により、保育を検証し専門性を高めることができましたか。	17	3	⑤情報交換は有意義だったが、理解を深めるのは難しい。(3人) ・努力が必要。
⑤幼稚園・保育園、互いの教育・保育について理解を深め、保育の連続性を考えることができましたか。	13	6	
⑥ 園内研修は効率的に進められ充実していますか。	19	1	

— 施設間交流・連携 —

①医療機関、児童相談所等の専門機関と必要に応じて連携を図れるように、その仕組みを理解していますか。	15	5	・理解不足。(3人) ・不安があれば園長に確認する。
---	----	---	-------------------------------

<前期のあなたの課題に対するその後の取組みはどうでしたか。

それを踏まえて来年度の課題は何ですか。>

### <その後の取組み>

- ・子どもや保護者との信頼関係が生まれるようなかかわりを大切にした。
- ・支援児が集団の中で日々過ごしやすい環境づくりをし、無理なく過ごせるような取組みをした。
- ・知識、勉強不足だった。(2人)
- ・自分のできる範囲がどこまでかを振り返り見極めた。
- ・子どもの気持ちに寄り添って考えながらかかわった。(2人)
- ・具体的な褒め方、声かけ、ダメと言わないように意識した。
- ・個人差の大きいクラスなので一人一人に向き合いながらそれぞれのペースに合わせたかかわりをした。
- ・制作がなかなかできなかったが持っている物を使いバリエーションを変えて楽しめるようにした。
- ・色々な場面で話し合うことはできたが、意思疎通は難しかった。
- ・発達理解、幼児理解、それに合った指導計画や環境構成、職員の連携や共通理解など日々関連性を踏まえ保育に努めている。
- ・担任間で常に相談しすめ、その時期に育ってほしい姿がどこまで合っているかを考えながら指導計画にも取り組んでいる。

### <来年度の課題>

- ・みんなが生活しやすい環境構成をしていく。(3人)
- ・周りをよく見て先を見通した保育をする。(3人)
- ・家庭との連携、職員間の連携を図る。(2人)
- ・各年齢の発達を理解し、子どもの姿をしっかり見つめ、認める。(2人)
- ・支援児の対応・子どもの気持ちや要求に十分応えて、愛される喜びを感じてもらえるような保育やかかわりをしていく。(2人)
- ・子ども達に寄り添い、楽しく過ごせるように見守っていく。(2人)
- ・「認定こども園」を基礎から学ぶ。
- ・意識を持った園内研修の取組みをしていく。
- ・乳幼児理解を深める。
- ・体操・手遊び・音楽遊びを子ども達と一緒に楽しむ。
- ・資格の取得を目指す。
- ・自分の考えや思いをもっとスムーズに伝えるようにしたい。
- ・リーダーとしてまとめる力をつけ、意識して取り組む。
- ・子ども達の心を引き付けられるような援助や環境構成をしていく。
- ・保育の質の向上を目指し、指導計画の作成の仕方を学ぶ。



## ◎良かった点

- ・毎日良く見てもらい大変有難い。安心して預けられる。
- ・先生達や保育に関しては本当に良くしてもらっている。
- ・困ったことなどいつでも相談にのってもらい、すぐ対応してくれ助けられている。
- ・こちらからのお願いに柔軟に対応してもらいうれしい。
- ・いつも親身に接してもらいうれしい。お便り帳等の報告で、日中一緒にいることができなくても子どもの成長が分かりとても助かっている。
- ・子どもだけでなく保護者の事まで気にしてもらい有難い。
- ・連絡帳のコメントが分かりやすく、普段の子どもの様子から楽しく過していると感じる。
- ・各クラスの間仕切りの効果なのか、インフルエンザ等の感染が蔓延しなくなって良かった。
- ・行事が悪天候の為中止になった時、担任の機転のきいたアイデアのおかげで、子どもががっかりせずに過ぎて良かった。
- ・アレルギーの食事の配慮に感謝している。
- ・子どもの体調に合わせ離乳食を変更してくれ有難かった。

## ☆質問、要望の欄から

### <給食について>

Q 土曜日の給食のメニューはカレー、そばろ井、焼肉などおいしそうなお献立が多く平日にも出して欲しい。(土曜日休みだと食べられない。)

A 今後、検討していきます。

Q 給食のおかずが少ない。

A 「栄養摂取基準表」に基づき必要栄養素の面や、一度で食べきれる量などに配慮しています。

Q おやつ時間が日に2回もあり、内容も健康上良いとは言えないものが与えられているのには不満がある。おやつのない日など回数を減らすように考慮してほしい。

A 内容については今後検討します。乳幼児は、一度の食事で多量には食べる事ができない為、水分補給を含めた補食として間食を提供しています。

Q おやつをもう少しお腹にたまる物にしてほしい。スナック菓子はやめてほしい。

A 内容については今後いろいろな視点から(子どもさんにとって楽しい時間、補食とし

での役割、など) 検討します。

Q 魚が生臭いのは対策をした方が良い。

A 魚はしっかり火を通してあります。魚の臭いが苦手なお子さんでも、食べられるように更に工夫していきたいと思えます。

### <感染症について>

Q 玄関の消毒液が空の 때가ほとんど。感染症対策が万全とは言えない。

A こまめに補充をしているつもりでしたが、申し訳ありません。気を付けます。

### <行事について>

Q 父母の会総会の参加者が少ない。

A 「4月は、入園式、個人面談等で、仕事を休まなければならないので優先順位を考えれば、総会は欠席。」という方が多いからでしょうか。参加を義務付ける訳にもいかずなかなか良案が浮かばずにいます。

Q 遠足(秋の野外保育)の行先が決まったら早めに知らせてほしい。

A 新年度の年間行事が決まり次第すぐにお伝えします。

Q お泊り保育をしてほしい。

A 幼稚園だと夏休み期間に実施する事が出来ませんが、当園はそれができません。乳児の保育を平常通りに実施しながらのお泊り保育を考える時に、協力できる職員の数、2日目の子どもさんの健康状態の把握、早目のお迎えをお願いできるか、等、保護者にかかる負担もあるかもしれない事が懸念されます。

ちなみに近隣の保育園(こども園)で実施しているところはないようです。

### <その他>

Q 雪の為、駐車場スペースが狭い。(2人 )

A 今年は近年まれに見る豪雪で、除雪にも支障が出た状況です。来年は早め早めで排雪をお願いするようにします。ご不便をおかけしまして申し訳ありませんでした。

Q 園便り(クラス便り)は、可能であればカラー版、そして誕生児の写真を入れてもらえるとうれしい。「そのお便りをずっと大切にしよう」と思える。

A 写真掲載については個人情報(プライバシー)の問題や、保護者によっていろいろな

考えがあると予想されることから、難しいかと思えます。

Q 新しい先生の名前が今だ分からないので布製の名札を付けるか、写真つき紹介を一年通して貼っておいてもらいたい。

A そのような要望があるとすれば、年間通して貼るようにします。

Q 排便があった時は教えてほしい。

A 登園の時点で、子どもさんの便の状態で気になる事は伝えて頂ければ、降園時にお伝えします。

Q 玄関が冬場寒い。

A 建物の構造上（全館暖房ではないので）仕方がないのかな・・・と。保育室は暖かくして、子どもの生活に支障がないようにしていますので、ご理解願えませんでしょうか。

Q 玄関の床が濡れている事が多く、靴を履きかえる際に子どもが靴下を汚してしまう。

A 冬場はどうしても、靴だけではなく、ジャケットやズボンなどからも雪が落ち、水滴ができやすくなってしまいます。定期的にチェックするようにしますね。

今年も皆様からの貴重なご意見をたくさんいただきましてありがとうございました。ご指摘いただいた点は改善し、ご要望については真摯に受け止め、各方面のいろいろな意見を参考にしながら回答したつもりです。今後も全ての子ども達が、毎日笑顔で生活できるように職員一同頑張っまいります。

## ●各委員の意見、感想

- ・ A委員 自分子ども一人見るだけでも感情的になって大変なのに、たくさん子どもを預かり教育している先生方は凄いと思う。
- ・ B委員 卒園して一年経つが、今でも「よつばこども園に入園して良かった」と家族で話すことがある。先生方の存在は、親にとっても大きな存在である。
- ・ C委員 友人の子どもが「よつばこども園」に入っていて、話す機会があった。「とても満足している」と話していた。
- ・ D委員 今回、評価委員会に参加して、園の取り組みや先生方子どもたちに対する思い、「質の高い保育の提供」のための具体的な手立て等、いろいろ知ることができた。今後自分が出席するいろいろな会議でこのことをPRしていきたい。

## ●提案

- ・ E委員 保護者アンケートの項目や内容の見直しをしてはどうか。例えば、「〇〇や△△や□□について良いと思うか？」と三つの項目について聞かれると、「〇〇と△△については良いと思うが、□□についてはそうは思わない。」と感じた時に、保護者にとってはどう答えたらいいかわからないと思う。その結果、いいと思わないと答えてしまう人もいるのではないか。
- ・ 園より 次回は一つの項目に多くを盛り込まず、答えやすいように考えたい。

## ●まとめ

- ・ 昨年は苦情処理ボックスや保護者アンケートの自由記述欄に、数件の問題提起案件が寄せられた。今年は非常に少なく、そのほとんどがすぐに解決できるものだった。「認定こども園」となり、その取り組みの姿勢や、園としての教育・保育の方向性、職員の保護者対応の仕方の見直し等、広く周知されたからではないかと考える。今回参加した委員から、園に対する信頼の言葉を頂いたことは職員一同大きな励みとなった。さらに地域に愛され、必要とされる園となるために、どのような情報提供の仕方や連携の仕方があるのかを今後も工夫しながら進めていきたい。